自閉スペクトラム症の理解と支援

～ 事例を通して考える ～

講座№1620６

発達障害・専門講座６（沖縄特別講座）

**期　　日：２０１7年 ２月25日（土）・26日（日）**

**受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、**

**ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方**

**定　　員：１0０名**（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

**受 講 料：3,０００円**（税込み）※昼食・宿泊等は各自でお手配ください

**お問合せ：公益財団法人　明治安田こころの健康財団　 03-3986-7021**

**会　　場：沖縄県医師会館　ホール**※詳細地図は受講証に添付いたします

**沖縄県南風原町新川218-9**

◎バス ⇒ 新川営業所、または、県立医療センター前下車 徒歩数分

  沖縄講座には2009年から2回、企画で関わっているが、臨床の現場では当時と比べて発達障害の概念が広く認識されてきたと実感する。一方概念そのものが変遷し、DSM5では障害ではなくスペクトラムで捉える視点が取り入れられ、個別ケースの理解がしやすくなった反面、線引きが不明瞭になることで問題となることも出てきているように思う。

今回の講座では「自閉スペクトラム症の理解と支援－事例を通して考える－」をテーマに、疾患概念や臨床現場での様々な問題点と今後の展望等、最近の知見を加えて講師の先生方にお話しいただく予定である。

前回2012年の講座では生の事例を通して問題点の共有化を図ることで、多くの学びを得ることができ好評であった。今回も2日目は集中して事例検討を行う内容とし、フロアの皆さんも交えて議論が盛り上がることを期待している。

是非多くの皆様にご参加頂きたい。

【医療法人へいあん　平安病院　理事長　　平安　明】

≪プログラム≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 時　間 | 　　　　テ 　ー 　マ | 講　師（敬称略） |
| 2月25日(土) | 9:30～11:00 | 自閉スペクトラム症の臨床の在り方 | 医療法人弘徳会愛光病院顧　問　　　　　　　　山﨑　晃資 |
| 11:10～12:40 | 自閉スペクトラム症の疫学 | 浜松医科大学健康社会医学精神科医　　　　　　土岐　篤史　 |
| *昼　食　（各自でお取りください）* |
| 13:40～15:10 | 成人の自閉スペクトラム症 －診療の現況－ | 琉球大学大学院精神病態医学講座教　授　　　　　　　　近藤　　毅 |
| 15:25～16:55 | 自閉スペクトラム症の発達支援と家族支援 | 社会福祉法人五和会　名護療育医療センター診療部長(小児科医)　　勝連　啓介 |
| 2月26日(日) | 9:30～12:00 | \*\*\*\*\* **事 例 検 討** \*\*\*\*\* | コメンテータ：　　（前　　掲）　　　　　　山﨑　晃資 |
| 【事例①】 社会不適応を呈する青年期自閉スペクトラム症の１例－長期経過を振り返って－ | 進　 行：　　（前　　掲） 　　　　土岐　篤史事例報告：医療法人愛燦会発達神経クリニックプロップ理事長・院長　　　　城間　直秀 |
| 【事例②】 執拗な幻聴に悩まされる思春期ASDの１例 | 進　 行：　　（前　　掲） 　　　　勝連　啓介事例報告：こころクリニック児童精神科医　　　二木　志保 |
| 12:00～12:30 | 質疑とまとめ | （前　　掲）　　　　　　　　　山﨑　晃資 |

※時間割・テーマ等については、変更となる場合があることをお含みください。